

本資料は、アストラゼネカ英国本社（AstraZeneca PLC）が2023年7月28日に発表した[2023年上半期および第2四半期業績発表プレスリリース](#)を抜粋し、日本語に翻訳したものです。発表の内容及び解釈については英語本社発表版が優先します。

2023年上半期および第2四半期業績

～直近での複数の新薬発売と、堅調な市場展開を反映し、
収益と1株あたり利益（EPS）が大幅に増加～

収益およびEPSの概要

	2023年上半期			2023年第2四半期		
	増減 (%)			増減 (%)		
	100万ドル	実績	CER ¹	100万ドル	実績	CER
- 製品売上	21,448	(1)	3	10,882	2	5
- アライアンス収益 ²	627	>2x	>2x	341	>2x	>2x
- 協業収益 ²	220	(16)	(15)	193	n/m	n/m
売上収益	22,295	1	4	11,416	6	9
売上収益（COVID-19を除く）	21,961	12	16	11,237	14	17
報告ベース ³ EPS ⁴	\$2.34	>4x	>6x	\$1.17	>5x	>9x
コア ⁵ EPS	\$4.07	13	21	\$2.15	25	38

財務業績

（注記がない限り、2023年上半期の数値、伸び率は恒常為替レート(CER)ベース）

- COVID-19 医薬品の収益が 21 億 8,100 万ドル減少したにもかかわらず、売上収益は 4% 増の 222 億 9,500 万ドルを達成⁶
- COVID-19 医薬品を除くと、売上収益は 16%増加し、製品売上は 15%増加
- オンコロジー製品による売上収益は 22%増、CVRM⁷は 20%増、R&I⁸は 10%増、希少疾患は 12%増
- コア製品売上総利益率⁹は、利益率の低い COVID-19 製品の売上減少、過年度の生産コスト、および現在展開中のより専門性の高い製品へのミックスシフトを反映し、3 パーcentageポイント増の 83%
- 2023年第2四半期のコアのその他営業収入および費用には、以前発表した *Beyfortus*（ニルセビマブ）の契約関係更新に基づく計 7 億 1,200 万ドルの利益を含む
- コア EPS は 21%増の 4.07 ドル。中間配当金は 0.93 ドル（71.8 ペンス、9.64 スウェーデンクローナ）を維持
- 2023 年度売上収益およびコア EPS のガイダンスの再掲

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「COVID-19 医薬品以外の各治療領域はいずれも 2 桁台の増収を達成しました。8 品目の医薬品で上半期収益が 10 億ドルの大台を上回っており、当社のビジネスの堅牢さが結果として現れました。ユルトミリス、イミフィンジ／イジユドおよびフォシーガの収益がそれぞれ 64%、57%および 40%増加するなど、いくつかの製品は著しい成長を見せました。

パイプラインも引き続き順調に進展しており、本年度はこれまでにオンコロジー領域の主要 8 試験で良好な結果が認められています。また、datopotamab deruxtecan については、初の主要試験である TROPION-Lung01 試験で肯定的なデータが得られており、期待が大いに高まっています。今後、学会等を通じて医学界とこれらのデータを共有できることを楽しみにしているとともに米国食品医薬品局（FDA）へのデータ提出を進めていきます。

また、当社の主要なサステナビリティプログラム『アンビション・ゼロカーボン』の一環として、『AZ フォレスト』への4億ドルの投資を発表し、2030年までに2億本の植樹を行うことを表明しました」。

前回の業績発表以降の主なマイルストーン

- 主な良好な臨床試験結果：肺がんにおける datopotamab deruxtecan (TROPION-Lung01)、NSCLC¹⁰におけるタグリッソ (FLAURA2)、子宮内膜がんにおける リムパーザ+イミフィンジ (DUO-E)、胃がんおよび胃食道がんにおけるイミフィンジ (MATTERHORN)
- 主な薬事承認：BRCA 変異陽性前立腺がんにおける リムパーザ (PROpel)、駆出率を問わない HF¹¹における フォシーガ (DELIVER)、および RSV¹²予防における Beyfortus に対する米国での承認、NMOSD¹³におけるユルトミリスのEUでの承認、ならびにHER2¹⁴低発現の転移性乳がんにおけるエンハーツ、gMG¹⁵におけるソリリス、神経線維腫症におけるコセルゴの中国での承認
- その他のマイルストーン：米国における HR¹⁶陽性進行乳がんに対するカピバセルチブとフェソロデックスの併用療法に対する優先審査指定

ガイダンス（業績予想）

2023年通年のガイダンスは、2022年までの平均為替レートを基にした CER ベースで再度発表しました。

売上収益は1桁台前半から半ばのパーセンテージの増加が見込まれる。

COVID-19 医薬品を除くと、売上収益は2桁台前半の増加を見込む。

コア EPS は1桁台後半から2桁台前半の増加を見込む。

- COVID-19 医薬品（バキスゼブリア¹⁷および COVID-19 mAbs¹⁸）の売上収益は、2023年には大幅に減少すると予想
- 中国での売上収益は、2023年には増加に転じ、1桁台前半から半ばのパーセンテージの増加となる見込み（従来予想は1桁台前半の増加）
- アライアンス収益および協業収益は、提携医薬品の継続的な成長およびマイルストーンごとの成功報酬により、いずれも増加する見込み¹⁹
- コア営業費用は、最近の上市への投資、およびパイプラインの成功後の新規試験の開始により、1桁台前半から半ばの増加を見込む
- コア税率は18-22%を想定

当社は、買収関連負債に生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を、信頼性をもって予測できないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。

為替の影響

仮に2023年7月から12月までの為替レートが2023年6月の平均レートで推移した場合、2023年の売上収益は、CERベースの業績に対して1桁台前半の悪影響を受けると想定しています。また、コア EPS は、1桁台前半から半ばの悪影響を受けると想定しています（従来予想は1桁台前半の悪影響）。

Table 1 : 2023 年第 2 四半期売上収益のパフォーマンスの主要要素

収益項目	100 万ドル	増減 (%)		
		実績	CER	
製品売上	10,882	2	5	* オンコロジー、CVRM、R&I および希少疾患が CER ベースで 2 桁台の成長
アライアンス収益	341	>2x	>2x	* エンハーツが 2 億 5,500 万ドル (2022 年第 2 四半期 : 1 億ドル) * テゼスパイアが 6,200 万ドル (2022 年第 2 四半期 : 1,300 万ドル) * 詳細は Table 6 を参照
協業収益	193	n/m	n/m	* インド血清研究所 (Serum Institute of India Pvt. Ltd. : SII) から COVID-19 mAbs のライセンス収入として 1 億 8,000 万ドル * 詳細は Table 7 を参照
売上収益	11,416	6	9	* COVID-19 医薬品を除くと、2023 年第 2 四半期の売上収益は 14% (CER ベースでは 17%) 増

治療領域	100 万ドル	増減 (%)		
		実績	CER	
オンコロジー	4,646	22	25	* 主要製品および地域において好調な業績を達成 * 当四半期における リムパーザによる売上または薬事上のマイルストーンはなし (2022 年第 2 四半期 : 0 ドル)
CVRM	2,682	14	18	* フォシーガの売上は 37% (CER ベースでは 41%) 増、ロケルマは 51% (CER ベースでは 55%) 増、ロキサデュスタットは 42% (CER ベースでは 51%) 増、プリリントは 5% (CER ベースでは 3%) 減
R&I	1,547	11	14	* ファセンラの売上は 15% (CER ベースでは 16%) 増、ビレーズトリは 75% (CER ベースでは 79%) 増。サフネローおよび テゼスパイアは、発売後力強い成長を保持
V&I ²⁰	278	(72)	(71)	* COVID-19 mAbs : 協業収益として 1 億 8,000 万ドルを計上。製品売上は 100 万ドル減少 (2022 年第 2 四半期 : 4 億 4,500 万ドル) * パキスゼブリア : 0 ドル (2022 年第 2 四半期 : 4 億 5,500 万ドル)
希少疾患	1,953	8	10	* ユルトミリスの売上は 64% (CER ベースでは 66%) 増加するも、ソリリスの 21% (CER ベースでは 19%) 減により一部相殺 * ストレンジックの売上は、患者さんの需要の強さと販売地域拡大を反映して 24% (CER ベースでは 25%) 増
その他医薬品	311	(27)	(23)	* ネキシウムは、日本でジェネリック医薬品との競争が激化
売上収益	11,416	6	9	

COVID-19 を含む地域別売上	100 万ドル	増減 (%)		
		実績	CER	
米国	4,782	10	10	
新興国市場	3,115	12	19	
- 中国	1,441	-	7	
- 中国以外の新興国市場	1,674	23	32	

欧州	2,211	6	6
その他既成市場	1,308	(16)	(9)
COVID-19 を含む売上収益	11,416	6	9

		増減 (%)		
COVID-19 を除く地域別売上	100 万ドル	実績	CER	
米国	4,782	17	17	
新興国市場	2,938	13	21	
- 中国	1,441	1	7	* CER ベースで 4 四半期連続の成長
- 中国以外の新興国市場	1,497	28	39	
欧州	2,208	18	18	
その他既成市場	1,309	1	8	
COVID-19 を除く売上収益	11,237	14	17	

Table 2: 2023 年第 2 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

項目	報告ベース	報告ベース 増減	コア	コア増減	コメント ²¹
売上収益	114 億 1,600 万 ドル	実績 6% CER 9%	114 億 1,600 万 ドル	実績 6% CER 9%	* COVID-19 医薬品を除くと、2023 年第 2 四半期の売上収益は 14%（CER ベースでは 17%）増加 * 詳細は、本書の Table 1 および売上収益の項を参照
製品売上総 利益率	82%	実績 +10pp CER +12pp	82%	実績は安定 的 CER +2pp	+ オンコロジーおよび希少疾患医薬品の売上構成比の上昇 + バキスゼブリアの売上構成比の低下 - 利益分配契約による製品構成比の上昇（アストラゼネカが製品売上を計上し、パートナーへの利益配分を COGS ²² の費用として計上したため） * 製品の季節性、為替変動、コストインフレおよびその他の影響により、期間による製品売上総利益率の変動が予想される
研究開発費	26 億 6,700 万 ドル	実績 5% CER 7%	25 億 6,800 万 ドル	実績 6% CER 8%	+ パイプラインへの投資拡大 * コア研究開発費の対売上収益比は 22%（2022 年第 2 四半期：23%） * 前年同期比は、試験の開始と実行に伴うコストフェーズの違いの影響を受ける可能性がある
販売費・ 一般管理費 (SG&A)	49 億 8,600 万 ドル	実績 6% CER 8%	32 億 9,600 万 ドル	実績 5% CER 8%	+ 最近発売された製品および発売前製品の市場開拓活動 + 報告ベースの SG&A は、2023 年第 2 四半期の法的和解に関連した引当金繰入額 5 億 1,000 万ドルを含め、法務上の引当金繰入額増加の影響を受けた（注記 6 参照） * コア SG&A 対売上収益比率は 29%（2022 年第 2 四半期：29%） * 前年同期比は、コストフェーズの違いの影響を受ける可能性がある
営業外収入 および費用 ²³	7 億 8,400 万 ドル	実績 >6x CER >6x	7 億 8,400 万 ドル	実績 >6x CER >6x	+ 報告ベースおよびコアのその他営業利益は、Beyfortus（ニルセビマブ）に関する契約関係の更新による 7 億 1,200 万ドルの利益を含む
営業利益率	22%	実績 +17pp CER +19pp	38%	実績+6pp CER +8pp	* 上記の製品売上総利益率、費用およびその他営業利益のコメントを参照

					* その他営業利益により、2023年第2四半期の営業利益率は7パーセンテージポイント増加
純金融費用	3億 6,700万 ドル	実績 25% CER 17%	2億 6,200万 ドル	実績 17% CER 4%	+ 流動負債および社債発行の利息は上昇するも、現金残高に対する受取利息の上昇により一部相殺 + 報告ベースの数値は、買収関連負債の割引戻しも影響
税率	13%	n/m	17%	実績+2pp CER +2pp	* 期間による税率の変動が予想される
EPS	\$1.17	実績>5x CER >9x	\$2.15	実績 25% CER 38%	

Table 3 : 前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	医薬品	適応症/治験	イベント
薬事承認 およびその他の 薬事案件	リムパーザ	前立腺がん (1次治療) (PROpel)	薬事承認 (米国)
	エンハーツ	HER2 低発現乳がん (3次治療) (DESTINY-Breast04)	薬事承認 (中国)
	フォシーガ	HFpEF ²⁴ (DELIVER)	薬事承認 (米国)
	Xigduo	2型糖尿病 (XR 製剤)	薬事承認 (中国)
	Beyfortus	RSV (MELODY/MEDLEY)	薬事承認 (米国)
	ユルトミリス	NMOSD	薬事承認 (欧州、日本)
	コセルゴ	NF1-PN ²⁵ (小児) (SPRINT)	薬事承認 (中国)
	ソリリス	gMG	薬事承認 (中国)
	ソリリス	gMG (難治性、小児および青年)	薬事承認 (欧州)
薬事承認申請 または受理	エンハーツ	HER2 陽性乳がん (3次治療) (DESTINY-Breast02)	薬事承認申請 (米国)
	カピバセルチブ	HR 陽性/HER2 低値または陰性の 局所進行性または転移性乳がん (2次治療) (CAPitello-291)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本)、優先審査 (米国)
	ファセンラ	コントロール不良の喘息 (MIRACLE)	薬事承認申請 (中国)
	Beyfortus	RSV (MELODY/MEDLEY)	薬事承認申請および優先審査 (中国)
	ダニコパン	EVH ²⁶ を伴う PNH ²⁷	薬事承認申請 (米国、日本)
主な第 III 相 試験結果および その他の展開	タグリッソ	EGFRm ²⁸ NSCLC (1次治療) (FLAURA2)	主要評価項目達成
	リムパーザ+ イミフィンジ	子宮内膜がん (1次治療) (DUO-E)	2つの主要評価項目達成
	リムパーザ+ セジラニブ	白金製剤抵抗性または難治性の卵 巣がん (GY005)	主要評価項目未達成
	イミフィンジ	切除可能な早期の局所進行胃がん/ 食道胃接合部がん (MATTERHORN)	重要な副次評価項目達成 (pCR ²⁹)
	datopotamab deruxtecan	NSCLC (2次および3次治療) (TROPION-Lung01)	2つの主要評価項目達成 (PFS ³⁰)

今後のパイプライン進展

主要試験のリードアウトの予想時期については、臨床試験付録 (Clinical Trials Appendix) (www.astrazeneca.com/investor-relations.html) 2 ページの表をご覧ください。

その他、パイプラインの変更

炎症性腸疾患を対象とした brazikumab の臨床開発プログラムは、brazikumab の開発スケジュールのレビュー後に中止されました。

水疱性類天疱瘡を対象とした ファセンラの 第 III 相試験は、無益性（有効性）を理由に中止されました。

Table 4 : 2023 年 1 月 1 日以降に開始された第 III 相試験

医薬品	試験名	適応症
datopotamab deruxtecán	AVANZAR	NSCLC（1 次治療）
	TROPION-Lung07	非扁平上皮 NSCLC（1 次治療）
カミゼストラント	CAMBRIA-1	HR 陽性/HER2 陰性乳がんにおける術後薬物療法
テゼスパイア	CROSSING	好酸球性食道炎
AZD3152	SUPERNOVA	COVID-19 の予防
ユルトミリス	ARTEMIS	心臓手術関連の急性腎障害
ビレーズトリ	LITHOS	軽症または中等症喘息
pMDI ³¹ ポートフォリオ	HFO1234ze	健康被験者における粘液線毛クリアランス
pMDI ポートフォリオ	HFO1234ze	コントロール良好または部分的にコントロールされている喘息

コーポレートおよび事業開発

2023 年 4 月の発表のとおり、アストラゼネカと Swedish Orphan Biovitrum AB（Sobi）との間の、将来の米国での *Beyfortus*（ニルセビマブ）の販売に関する契約関係は、サノフィと Sobi との間のロイヤリティ関係に置き換えられました。その結果、Sobi に対するアストラゼネカの将来の義務を示すその他の長期債務はアストラゼネカの当四半期の財務諸表から除外され、アストラゼネカはコアのその他営業利益に 7 億 1,200 万ドルの利益を計上しました。

2023 年 6 月、アストラゼネカは、1 型糖尿病および炎症性腸疾患を対象に、治癒をもたらす可能性がある複数の改変制御性 T 細胞療法を開発するため、Quell Therapeutics 社と独占的オプション契約およびライセンス契約を締結しました。

2023 年 7 月、アストラゼネカと Ionis Pharmaceuticals 社は、eplontersen に関する従来の協力関係を拡大し、中南米も対象地域に含めることで合意しました。アストラゼネカは、中南米での eplontersen の商業化権の対価として 2,000 万ドルを Ionis 社に支払います。

2023 年 7 月、アストラゼネカと Vaxess Technologies 社は、パンデミックインフルエンザに備えた新しいパッチ型の RNA ベースプロトタイプワクチンを評価する共同研究に着手しました。この共同研究は、RNA をベースとしたパンデミックインフルエンザワクチンの開発を目的として、アストラゼネカが 2023 年 2 月に MCDC コンソーシアムを介して米国国防総省と締結した合意に基づく広範な開発プログラムの一環であり、米国生物医学先端研究開発局から資金提供を受けています。

2023 年 7 月、アレクシオン・アストラゼネカ・レア・ディーズ（アレクシオン社）とファイザー社は、アレクシオン社がファイザー社の早期希少疾患遺伝子治療ポートフォリオのアセットを購入し、ライセンス供与を受ける契約を締結しました。対価の総額は最大 10 億ドルで、これに加えて売上に応じた段階的なロイヤリティが支払われます。アレクシオン社は、取引完了の条件を満たせば、2023 年第 3 四半期に取引を完了する予定です。

サステナビリティの概要

アストラゼネカは 2023 年 7 月に、当社が展開する「AZ フォレスト・プログラム」への 4 億ドルの投資を発表し、2030 年までに 2 億本の植樹を行うコミットメントを表明しました。グローバルプロジェクトでは、地域社会や生態学の専門家と協力し、大規模な森林再生を実現するとともに、生物多様性の支援や人々の生活環境の維持に取り組みます。

経営幹部の交代

Sharon Barr（現、アレクシオン社のシニア・バイスプレジデント兼研究・製品開発部門長）が、Mene Pangalos の後任としてバイオ医薬品研究開発部門担当エグゼクティブ・バイスプレジデントに就任する予定です。Mene は、当社での約 14 年間を含め、35 年間に及ぶ輝かしい経歴を築いてきましたが、来年初めに役職を辞任し、退職する予定です。Sharon は、最高経営責任者のパカル・ソリオの直属となり、8 月 1 日付でアストラゼネカのシニア・エグゼクティブ・チームに参加します。

報告カレンダー

当社は、2023 年 11 月 9 日（木）に、第 3 四半期決算を発表する予定です。

（以下、本文からの抜粋）

営業および財務の概況

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、百万米ドル（m）単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2022 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「2022 年上半期」）と比較した 2023 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「当上半期」または「2023 年上半期」）、あるいは 2022 年 6 月 30 日までの 3 カ月間（「2022 年第 2 四半期」）と比較した 2023 年 6 月 30 日までの 3 カ月間（「当四半期」または「2023 年第 2 四半期」）の業績を示しています。

コア財務指標である EBITDA、純負債、製品売上総利益率（以前の「売上総利益率」）、営業利益率および CER は、当社グループの中間財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより良く理解するための有益な補足情報を提供すると考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優越するものでもありません。

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- 組織改編に関連する費用および引当金（構造改革プログラムが資産化された IT 資産に及ぼす影響に関連する費用を含む）
- アレクシオン社買収関連項目（主に買収した棚卸資産の公正価値調整と従業員株式報奨の差し替えによる公正価値の影響）
- その他の特定項目（主に企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、法的和解、ならびにアレクシオン社買収によって生じた特定のその他の支払債務に関連する再測定調整）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2022](#) の 63 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

製品売上総利益率（以前の「売上総利益率」）は、製品売上が売上原価を上回る割合であり、両者の差額を売上で除して計算されます。報告ベースの製品売上総利益率およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益、協業収益および関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上の基礎的な業績が反映されています。

EBITDA は、合併会社および関連会社から生じたネット金融費用ならびに減価償却費および減損費用を控除した報告ベースの税引前利益と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表（英語原文）の中間財務諸表の注記 3「ネット借入」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

売上収益

Table 5 : 治療領域および医薬品別業績（製品売上および売上収益）

製品売上	2023 年上半期				2023 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
オンコロジー	8,302	37	17	21	4,382	38	18	22
- タグリッソ	2,915	13	8	12	1,491	13	7	10
- イミフィンジ ³²	1,976	9	53	57	1,076	9	55	58
- リムパーザ ³	1,368	6	6	10	717	6	7	9
- カルケンス	1,185	5	31	33	653	6	34	34
- エンハーツ	104	-	>3x	>3x	67	1	>3x	>3x
- Orpathys	22	-	(7)	-	13	-	22	30
- ゴラデックス	459	2	(4)	4	233	2	(1)	5
- フェソロデックス	153	1	(14)	(7)	78	1	(8)	(3)
- その他	120	1	(37)	(33)	54	-	(42)	(39)
バイオ医薬品 : CVRM	5,205	23	14	19	2,675	23	14	18
- フォシーガ	2,804	13	33	39	1,505	13	36	41
- ブリリンタ	665	3	(1)	1	331	3	(5)	(3)
- ロケルマ	198	1	53	59	100	1	51	55
- ロキサデュスタット	134	1	48	59	73	1	46	56
- オンデキサ	89	-	28	33	45	-	23	26
- クレストール	585	3	7	14	280	2	-	5
- セロケン/Toprol-XL	343	2	(27)	(20)	164	1	(26)	(21)

- オングリザ	127	1	(8)	(4)	65	1	(9)	(6)
- ビデュリオン	89	-	(37)	(37)	43	-	(41)	(41)
- その他	171	1	(13)	(10)	69	1	(30)	(28)
バイオ医薬品：R&I	3,066	14	6	10	1,483	13	7	10
- シムビコート	1,288	6	-	4	600	5	(2)	1
- ファセンラ	744	3	12	14	406	4	15	16
- ビレーズトリ	307	1	71	76	163	1	75	79
- サフネロー	115	1	>3x	>3x	68	1	>2x	>2x
- テゼスパイア	30	-	n/m	n/m	19	-	n/m	n/m
- パルミコート	346	2	4	11	124	1	7	13
- ビベスビ ^o	29	-	(1)	(1)	15	-	(1)	(3)
- Daliresp/Daxas	30	-	(72)	(72)	17	-	(71)	(70)
- その他	177	1	(30)	(26)	71	1	(34)	(32)
バイオ医薬品：V&I	443	2	(84)	(83)	88	1	(91)	(90)
- COVID-19 mAbs ³³	126	1	(86)	(85)	(1)	-	n/m	n/m
- バキスゼブリア	28	-	(98)	(98)	-	-	n/m	n/m
- Beyfortus	2	-	n/m	n/m	2	-	n/m	n/m
- シナジス	284	1	1	8	87	1	8	16
- フルミスト	3	-	n/m	n/m	-	-	n/m	n/m
希少疾患	3,819	17	9	12	1,953	17	8	10
- ソリリス	1,648	7	(18)	(16)	814	7	(21)	(19)
- ユルトミリス	1,364	6	60	64	713	6	64	66
- ストレンジック	562	3	25	26	300	3	24	25
- コセルゴ	159	1	57	57	80	1	28	30
- カヌマ	86	-	16	17	46	-	28	30
その他医薬品	613	3	(27)	(22)	301	3	(28)	(24)
- ネキシウム	492	2	(27)	(22)	248	2	(28)	(23)
- その他	121	1	(28)	(25)	53	-	(29)	(27)
製品売上	21,448	96	(1)	3	10,882	95	2	5
アライアンス収益	627	3	>2x	>2x	341	3	>2x	>2x
協業収益	220	1	(16)	(15)	193	2	n/m	n/m
売上収益	22,295	100	1	4	11,416	100	6	9

Table 6：アライアンス収益

	2023 年上半期				2023 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
エンハーツ	475	76	>2x	>2x	255	75	>2x	>2x
テゼスパイア	105	17	>6x	>6x	62	18	>4x	>4x
バキスゼブリア：ロイヤリティ	-	-	n/m	n/m	-	-	n/m	n/m
その他のロイヤリティ収入	41	7	19	18	22	6	15	13
その他のアライアンス収益	6	1	57	62	2	1	(21)	(17)
合計	627	100	>2x	>2x	341	100	>2x	>2x

Table 7：協業収益

	2023 年上半期				2023 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
COVID-19 mAbs：ライセンス料	180	82	n/m	n/m	180	93	n/m	n/m
フォシーガ：販売マイルストーン	25	11	n/m	n/m	1	1	n/m	n/m
その他の協業収益	15	7	(3)	(1)	12	6	>4x	>4x
合計	220	100	(16)	(15)	193	100	n/m	n/m

Table 8 : 治療領域別売上収益

	2023 年上半期				2023 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
オンコロジー	8,794	39	18	22	4,646	41	22	25
バイオ医薬品	9,051	41	(13)	(9)	4,506	39	(5)	(2)
- CVRM	5,239	24	14	20	2,682	23	14	18
- R&I	3,180	14	7	10	1,547	14	11	14
- V&I	632	3	(77)	(76)	278	2	(72)	(71)
希少疾患	3,819	17	9	12	1,953	17	8	10
その他医薬品	631	3	(27)	(22)	311	3	(27)	(23)
合計	22,295	100	1	4	11,416	100	6	9

財務実績

Table 11: 報告損益

	2023 上半期	2022 上半期	増減 (%)		2023 年 第 2 四半期	2022 年 第 2 四半期	増減 (%)	
	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	100 万 ドル	100 万 ドル		実績	CER
売上収益	22,295	22,161	1	4	11,416	10,771	6	9
- 製品売上	21,448	21,610	(1)	3	10,882	10,630	2	5
- アライアンス収益	627	290	>2x	>2x	341	138	>2x	>2x
- 協業収益	220	261	(16)	(15)	193	3	n/m	n/m
売上原価	(3,865)	(6,509)	(41)	(41)	(1,960)	(2,998)	(35)	(38)
総利益	18,430	15,652	18	24	9,456	7,773	22	28
製品売上総利益	82.0%	69.9%	+12pp	+13pp	82.0%	71.8%	+10pp	+12pp
流通費用	(265)	(254)	4	8	(131)	(129)	1	4
- 売上収益に占める割合	1.2%	1.1%	-	-	1.1%	1.2%	-	-
研究開発費	(5,278)	(4,679)	13	16	(2,667)	(2,546)	5	7
- 売上収益に占める割合	23.7%	21.1%	-3pp	-2pp	23.4%	23.6%	-	-
販売費・一般管理費	(9,045)	(9,521)	(5)	(2)	(4,986)	(4,681)	6	8
- 売上収益に占める割合	40.6%	43.0%	+2pp	+3pp	43.7%	43.5%	-	-
営業外収入および費用	1,163	219	>5x	>5x	784	122	>6x	>6x
- 売上収益に占める割合	5.2%	1.0%	+4pp	+4pp	6.9%	1.1%	+6pp	+6pp
営業利益	5,005	1,417	>3x	>4x	2,456	539	>4x	>6x
営業利益率	22.4%	6.4%	+16pp	+17pp	21.5%	5.0%	+17pp	+19pp
純金融費用	(654)	(612)	7	4	(367)	(293)	25	17
合併事業および関連会社	(1)	(5)	(71)	(69)	(1)	1	n/m	n/m
税引前利益	4,350	800	>5x	>6x	2,088	247	>8x	n/m
税金	(726)	(52)	n/m	n/m	(268)	113	n/m	n/m
税率	17%	7%			13%	-46%		
税引後利益	3,624	748	>4x	>6x	1,820	360	>5x	>9x
EPS (1 株あたり利益)	\$2.34	\$0.48	>4x	>6x	\$1.17	\$0.23	>5x	>9x

Table 13: 2023 年上半期 - 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2023 年上半期

	報告 ベース	組織改編	無形資産の 償却および減損	アレクシオ ンの買収	その他	コア	コア増減 (%)	
2023 年上半期	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
総利益	18,430	118	16	57	(3)	18,618	3	8
製品売上総利益率	82.0%					82.9%	+2pp	+3pp
流通費用	(265)	-	-	-	-	(265)	5	8
研究開発費	(5,278)	69	337	3	1	(4,868)	5	9
販売費・一般管理費	(9,045)	102	1,906	4	683	(6,350)	4	8
総事業費	(14,588)	171	2,243	7	684	(11,483)	5	8
営業外収入・費用	1,163	(61)	-	-	-	1,102	>5x	>5x
営業利益	5,005	228	2,259	64	681	8,237	12	20
営業利益率	22.4%					36.9%	+4pp	+5pp
純金融費用	(654)	-	-	-	152	(502)	6	1
税金	(726)	(52)	(428)	(15)	(204)	(1,425)	14	22
EPS	\$2.34	\$0.11	\$1.18	\$0.03	\$0.41	\$4.07	13	21

Table 14: 2023 年第二四半期 - 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2023 年上半期

	報告 ベース	組織改編	無形資産の 償却および減損	アレクシオ ンの買収	その他	コア	コア増減 (%)	
Q2 2023	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
総利益	9,456	23	8	20	(5)	9,502	6	12
製品売上総利益率	82.0%					82.4%	-	+2pp
流通費用	(131)	-	-	-	-	(131)	1	4
研究開発費	(2,667)	39	57	1	2	(2,568)	6	8
販売費・一般管理費	(4,986)	61	952	2	675	(3,296)	5	8
総事業費	(7,784)	100	1,009	3	677	(5,995)	5	8
営業外収入・費用	784	-	-	-	-	784	>6x	>6x
営業利益	2,456	123	1,017	23	672	4,291	27	39
営業利益率	21.5%					37.6%	+6pp	+8pp
純金融費用	(367)	-	-	-	105	(262)	17	4
税金	(268)	(28)	(197)	(6)	(195)	(694)	44	62
EPS	\$1.17	\$0.06	\$0.53	\$0.01	\$0.38	\$2.15	25	38

利益および損益要因

売上総利益

報告された製品売上の総利益率とコア製品売上の総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響は除外。前半期の製品売上の総利益率（報告およびコア）の変動は以下の影響を受けました。

- 製品ミックスからのポジティブな影響：希少疾患およびがん製品の貢献は、製品売上総利益率にプラスの影響。一方、製品売上総利益率の希薄化につながるバキスゼブリアの売上は大幅に減少
- プロダクトミックスによる希薄化効果：アストラゼネカは特定の市場において製品売上を計上。一方で、提携パートナーに売上総利益の一部を支払うため、利益分配契約を交わしている製品（リムパーザ、エンハーツ、テゼスパイア）の売上の貢献度が増加すると、製品売上総利益率にマイナスの影響
- 地理的要因による希薄化効果：新興国市場は製品売上総利益率が会社平均を下回る傾向にあるが、COVID-19 関連製品を除く総売上高に占める割合が増加

製品の季節性、為替変動、原材料価格の上昇などの影響により、引き続き期間間における製品売上総利益率の変動を予想しています。より低いコストで製造された古い在庫が売却された後、原材料価格上昇の影響が損益計算書に反映されます。製品ラインによっては、インフレとその影響の間に数四半期のタイムラグが発生します。

研究開発費

上半期の研究開発費（報告ベースおよびコア）の変動には、以下が影響しています：

- 優先度が高い複数の医薬品に関する直近の後期臨床試験結果のデータ分析と評価
- 研究開発の生産性向上を図るためのプラットフォーム、新技術、能力への投資
- 報告された研究開発費は、無形資産の減損による影響を含む

販売費および一般管理費

上半期の販売費および一般管理費（報告ベースおよびコア）の変動は、主に製品上市に向けた市場開発活動によるものです。

報告上の販売費および一般管理費は、アレクシオンの買収、その他の買収および提携に関連する無形資産の償却による影響を含みます。

報告されている販売および一般管理費には、2023 年第 2 四半期の訴訟和解に関連する引当金繰入額 5 億 1,000 万ドルの影響を含んでおり、前年同期には中外製薬株式会社との訴訟和解金 7 億 7,500 万ドルの影響を含んでいます。

営業外収益および費用

上半期に報告された営業収益およびコア営業収益には、Beyfortus（ニルセビマブ）の契約更新による利益 7 億 1,200 万ドル、Pulmicort Flexhaler の米国における権利の売却による 2 億 4,100 万ドルの利益、有形資産の売却によるその他収益、および特定の医薬品のロイヤルティを含みます。

純金融費用

上半期の純金融費用（報告ベースおよびコア）の増加は、主に変動金利債務にかかる支払利息の増加および当期中に発行された 38 億ドルの社債利息によるものですが、一部は現金残高に対する利息収入の増加により相殺されています。報告されている純金融費用は、買収関連債務の割引戻し額の変動により増加しています。

税金

上半期の実効税率は 17%（2022 年上半期：7%）、コア税率は 18%（2022 年上半期：18%）でした。2022 年上半期の報告税率が低かったの理由は、報告税率は利益を得ている地域の税率に影響されるためです。また、報告された 2022 年上半期の税引前利益は著しく低く、これにより知的財産奨励制度などの恩恵の影響の割合が増加しました。

上半期の正味支払現金は 10 億 6,100 万ドル（2022 年上半期：10 億 600 万ドル）、税引前報告利益の 24%でした（2022 年上半期：126%）。

2023 年 6 月 20 日、英国で財政法（第 2 号）が実質的に制定され、世界最低実効税率 15% が導入されました。この法律は、2023 年 12 月 31 日以降に開始する会計期間から適用される国内上乗せ税と多国間上乗せ税を導入するものです。当社は、上乗せ法人所得税に関連す

る繰延税金資産および負債に関する情報の認識および開示について、IAS 第 12 号「法人所得税」の修正に基づく例外規定を適用します。これらの規則が財務諸表に与える影響については、現在評価中です。

配当金

発表された中間配当は、1 株当たり 0.93 ドルです。配当金の支払いスケジュールは通常以下の通りです。

- 中間配当：半期および第 2 四半期決算とともに発表、9 月支払い。
- 期末配当：通期および第 4 四半期決算とともに発表、3 月支払い。

サステナビリティ

前回の四半期報告以降におけるアストラゼネカの取り組みをお伝えします。

医療へのアクセス

5 月にジュネーブで開催された世界保健総会では、肺の健康、がんおよび慢性腎臓病に関するハイレベルな会議等に参加しました。また、当社取締役会議長のミシェル・デマレが世界保健機関事務局長、COP28 の CEO、ドイツ国連大使およびその他の要職者とともに、世界保健機関の公開セッション「The role of the Health Community in Climate Action: taking stock and moving forward（気候変動アクションにおける医療コミュニティの役割：現状評価と今後の課題）」に公式参加しました。

Partnership for Health System Sustainability and Resilience（PHSSR：保健医療システムの持続可能性と強靱性を向上するためのパートナーシップ）は、ブラジル、ギリシャ、カナダ、イタリアおよびドイツのステークホルダーを対象に研究とエンゲージメントの機会創出に引き続き取り組んでおり、政策立案者に対して積極的に働きかけ、医療システムの強化に向けた行動を求めています。また、PHSSR は 5 月に 2023 年度 PHSSR サマリーレポートを発表しました。同レポートでは、衝撃やストレスに満ちた状況下でも耐えうる医療システムの強靱性と、人口動態、社会、技術、経済および環境の長期的な変化の渦中における持続可能性がいずれも必要であることが強調されています。さらに、EU PHSSR の専門家諮問グループによる会議が開催され、非感染性疾患の予防および早期発見に焦点を当てた EU レベルの勧告が策定されました。

Healthy Heart Africa（HHA）は、グローバルおよび現地のステークホルダー間の協力関係を通じて、アフリカにおける医療システム強化に引き続き貢献しています。HHA は、2014 年の開始以降、10,600 人以上の医療従事者に対してトレーニングを提供し、3,850 万回以上の血圧スクリーニングを実施しました。2023 年 2 月から 6 月までには、月 100 万回という記録的なスクリーニング実績を達成しています（データは 2023 年 6 月末時点）。

ヤングヘルスプログラムでは、2010 年の開始以降、予防プログラム作成と支援活動を通じて、1,000 万人を超える青少年に対して非感染性疾患のリスク因子に関する情報を提供しました。アストラゼネカと UNICEF は、プログラムの効果を高く評価され、Better Society Award for Best Partnership with International Charity（ベター・ソサエティ・アワード国際的チャリティ活動とのベストパートナーシップ部門）を受賞しました。

ヘルスケアイノベーションハブで構成される当社のグローバルネットワーク A.Catalyst Network は、ブラジルに新たなイノベーション拠点を発足させました。このハブでは、ヘルスエコシステムにおける早期診断、疾患啓発および電子カルテ相互接続に関するソリューション、さらには医療提供による排出量の削減にフォーカスします。

環境保全

Vanguard Renewables 社との革新的なパートナーシップを通じて、アストラゼネカが米国内に保有するすべての研究・製造拠点において 2026 年末までに脱炭素化を達成することを発表しました。食品や農業から生じた廃棄物は再生可能な天然ガスへと生まれ変わり、当社の米国拠点に電力を供給するクリーンな熱源になります。このパートナーシップにより、排出量の削減や循環経済への貢献を実現するとともに、対策を講じなければ大気中へと排出されてしまうメタンガスを捕集します。2023 年 6 月に再生可能天然ガスの供給が開始されました。2026 年までに、年間 6,500 億英国熱量単位に達する再生可能天然ガスが生産される計画です。このエネルギーは、米国の家庭 17,800 世帯以上の年間の暖房に必要なエネルギーに相当します。

グローバルな森林再生と生物多様性に焦点を当てた当社のプログラム「AZ フォレスト」の拡大を発表しました。プログラムでは、投資を 4 億ドルに増額し、2030 年までに 6 大陸で計 2 億本の植樹とその維持を進めます。このコミットメントには、ブラジル、インド、ベトナム、ガーナおよびルワンダにおけるプロジェクトの開始や拡大が含まれます。これらのプロジェクトは、当社の「アンビション・ゼロカーボン」プログラムの一環として、自然環境の回復や生物多様性の促進、および生態系や地域社会の強靱性向上に寄与し、対象地域は全世界で 10 万ヘクタール以上に達します。

CEO のパスカル・ソリオは、持続可能な市場のためのイニシアチブ（SMI）のヘルスシステムタスクフォースを招集し、製薬業界のグローバルリーダー 6 名とともにサプライヤーに向けた公開書簡に署名しました。世界保健機関の支持を受けたこの書簡は、同タスクフォースが設定した気候と持続可能性に関する共同の最低目標の遵守をサプライヤーに要請することで、排出量への対処に伴う負担をヘルスケアバリューチェーン全体で軽減することを目指しています。

CEO のパスカル・ソリオは、6 月に開催されたロンドン気候アクション週間においてポピュレーションヘルスとプラネタリーヘルスとの相互関係について基調講演を行い、世界の温室効果ガス排出量の約 5%を占めるヘルスケアを脱炭素化する必要性を強く訴えました。グローバルオペレーションおよび IT 担当 EVP 兼チーフ・サステナビリティ・オフィサーの Pam Cheng は、5 月に日本で開催された G7 イベントの 1 つで基調講演を行いました。このイベントは、プラネタリーヘルスと人々の健康との相互関係をテーマに、日本医療政策機構（HGPI）と長崎大学が共同で主催したものです。

原薬製造が環境に及ぼす影響の低減を目指して、新たなプログラム [Activate](#) を開始しました。本プログラムには、Manufacture 2030 と 21 カ国で事業を展開する他の製薬会社 5 社も参加しています。最初のアクションとして、COP27 の場において、本プログラムは業界横断的な協力が必要と特定された機会をベースに企画されたこと、そして、製薬業界のバリューチェーンの主要セグメントにおける効果創出を目標とすることを発表しました。

倫理および透明性

臨床試験における多様性に関する社内パネルディスカッションを開催しました。グローバル・インクルージョン&ダイバーシティ委員会のメンバーを座長とし、アストラゼネカ全社から複数の専門家がパネリストとして出席しました。ディスカッションでは、当社で取り組んでいるアプローチ上の変更点と、このような取り組みが患者さん集団にもたらしているインパクトにフォーカスしました。

「対話と発展のための世界文化多様性デー」の祝賀イベントとして社員エンゲージメントキャンペーンを実行し、社員に対して自らの文化に関する情報発信の機会を提供しました。この記念日を機に、グローバル組織におけるカルチュラル・インテリジェンスの重要性と、業

績に及ぼすその影響を強調するとともに、カルチュラル・インテリジェンス・ツールキットを社員に提供しました。

「プライド月間」を祝して、ソーシャルメディアチャンネルでの投稿、世界各地での社内イベント開催のほか、AZ プライド社員リソースグループがアジア、欧州、南米および米国のプライドマーチおよびパレードに参加しました。

2023 年第 2 四半期および 2023 年 7 月 28 日までの開示事項 **特許権訴訟**

イミフィンジおよびイジュド **米国内外の特許訴訟**

開示されている通り、2022 年 3 月にブリストル・マイヤーズ スクイブ社と E.R. Squibb & Sons, LLC は、アストラゼネカがイミフィンジの販売において彼らの特許を複数侵害していると主張し、デラウェア地区連邦裁判所（地区裁判所）に対して訴訟を提起しました。2023 年 4 月、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社、E.R. Squibb & Sons, LLC、本庶佑氏、小野薬品工業株式会社、および Dana-Farber Cancer Institute Inc. は、アストラゼネカがイミフィンジの販売において別の特許を侵害しているとして、地区裁判所に別の訴訟を提起しました。これらの訴訟は後に統合されました。

以前開示された通り、2023 年 1 月にブリストル マイヤーズ スクイブ社と E.R. Squibb & Sons, LLC は、アストラゼネカがイジュドの販売において彼らの 2 つの特許権を侵害しているとして、デラウェア地区連邦裁判所に訴訟を提起しました。

開示されている通り、2022 年 2 月に日本で、小野薬品工業株式会社は、アストラゼネカが日本でのイミフィンジのマーケティングにおいて彼らの特許権をいくつか侵害していると主張し、東京地方裁判所に訴訟を提起しました。

2023 年 7 月、アストラゼネカは、ブリストル マイヤーズ スクイブ社、E.R. Squibb & Sons, LLC、および小野薬品工業株式会社との間で、イミフィンジおよびイジュドに関するすべての特許権を巡る裁判を解決するためのグローバルな和解合意に入りました。イミフィンジとイジュドの双方をカバーする条項により、合計額は 5 億 1,000 万ドルとなりました。

フェソロデックス

米国外での特許訴訟

開示されている通り、2021 年に日本で、アストラゼネカは日本特許庁から、サンド株式会社およびサンファーマ株式会社がフェソロデックスの製剤特許の無効審判を請求しているとの通知を受けました。アストラゼネカは特許権異議申立を防御し、サンファーマ株式会社は特許庁への特許権異議申立を取り下げました。2023 年 7 月、特許庁は、異議申立特許の様々なクレームを支持し、他の特許クレームを無効とする最終決定を下しました。

注：

¹ 恒常為替レート（Constant exchange rates, CER）。実績増減と CER 増減の差は、2023 年対 2022 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に基づく会計処理によるものではありません。

- ² 2023 年 1 月 1 日付で、当社グループは売上収益の表示方法を変更しました。アライアンス収益および協業収益の表示方法の詳細につきましては、中間財務諸表注記に記載された作成基準および会計方針をご覧ください。
- ³ 報告ベースの財務指標は、英国で採用されている国際会計基準および国際会計基準審議会（IASB）が公表している国際財務報告基準（IFRS）、ならびに欧州連合が採用している国際会計基準に従って表示されている財務結果です。
- ⁴ Earnings per share : 1 株当たり利益
- ⁵ コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主にアレクシオン買収に関連する費用、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 13 および Table 14 に記載されています。
- ⁶ COVID-19 の医薬品は、バキスゼブリア、エバシエルド、そして現在開発中の COVID-19 抗体である AZD3152 です。
- ⁷ Cardiovascular, Renal and Metabolism : 循環器・腎・代謝領域
- ⁸ Respiratory & Immunology : 呼吸器・免疫領域
- ⁹ 報告ベースの製品売上総利益率（以前の「売上総利益率」）およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響が除外されています。
- ¹⁰ Non-small cell lung cancer : 非小細胞肺癌
- ¹¹ Heart failure : 心不全
- ¹² Respiratory syncytial virus : 呼吸器系シンシチアルウイルス
- ¹³ Neuromyelitis optica spectrum disorder : 視神経脊髄炎スペクトラム障害
- ¹⁴ Human epidermal growth factor receptor 2 : ヒト上皮成長因子受容体 2
- ¹⁵ Generalised myasthenia gravis : 全身型重症筋無力症
- ¹⁶ Hormone receptor : ホルモン受容体
- ¹⁷ バキスゼブリアは、当社がアストラゼネカ COVID-19 ワクチンを供給するためのアストラゼネカの商標です。本報告書の財務表では、「バキスゼブリア売上収益」には、独自の商標でアストラゼネカ COVID-19 ワクチンを製造・供給するサブライセンシーからのロイヤリティ収入が含まれており、これはアライアンス収益として計上されています。
- ¹⁸ Monoclonal antibodies : モノクローナル抗体。COVID-19 mAbs には、エバシエルドおよび AZD3152 が該当します。
- ¹⁹ アライアンス収益と協業収益について、2022 年度の比較対象額は、それぞれ 7 億 4,900 万ドルおよび 6 億 400 万ドルです。
- ²⁰ Vaccines & Immune Therapies : ワクチン・免疫療法
- ²¹ Table 2 において、プラスとマイナスの記号は、議論されている項目の方向性の影響を示します。例えば、研究開発費のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。
- ²² Cost of goods sold : 売上原価
- ²³ グループが重要で継続的な経済的利益を保有していない資産および事業の処分による収入は、引き続き当社の財務諸表において「その他営業収入および費用」に計上されます。
- ²⁴ Heart failure with preserved ejection fraction : 駆出率が保持されている心不全
- ²⁵ 神経線維腫症 1 型に合併した蔓状神経線維腫
- ²⁶ Extravascular haemolysis : 血管外溶血
- ²⁷ Paroxysmal nocturnal haemoglobinuria : 発作性夜間血色素尿症
- ²⁸ Epidermal growth factor receptor mutation : 上皮成長因子受容体変異
- ²⁹ 病理学的完全奏効
- ³⁰ 無増悪生存期間
- ³¹ 加圧噴霧式定量吸入器
- ³² イミフィンジの製品売上には、イジウドの製品売上が含まれています。
- ³³ COVID-19 monoclonal antibodies : COVID-19 モノクローナル抗体。2023 年上半期、COVID-19 mAbs の製品売上はすべてエバシエルドの売上として計上されました。
- ⁶¹ その他の調整には、事業結合に関連する見込みのある対価やその他の買収関連負債に関する公正価値の調整、買収関連負債の割引の解除、特定の法的事項に関連する予備金の動きが含まれます。2023 年第 2 四半期におけるプリストルマイヤーズスクイブ社と小野薬品工業株式会社との法的解決に関連する予備金に対する 5 億 1,000 万ドルの費用を含みます。